

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年5月10日 NO.7

教育実習が始まりました！

5月7日（月）より4週間にわたり、二人の学生が教育実習を行います。教育実習とは、教員になるために必要な教員免許を取得するために義務付けられている科目です。実際の教育現場で児童を対象に「先生」としての業務を体験するものです。この期間中は、大学を離れ実際の先生方と同じように毎日通勤し、学校業務の仕事を行います。自分で授業を計画・立案し、児童の前で授業を行います。実習生にとっては、学生生活とは違い、期待と不安がいっぱいであるかと思いますが、学校全体・教職員・児童、皆で応援していきたいと思っております。健康に留意しながら、感動と喜びの1ヶ月になってほしいと願っています。以下二人の自己紹介と教育実習抱負を掲載いたします。

私は、五月から国立第七小学校で実習をさせていただいております。玉川大学四年佐藤奈緒美です。岡山県で生まれ育ち、東京に出て来て驚いたことは、子供たちの遊ぶ姿がみられないということでした。今まで自然の中で遊ぶことが当たり前であったのが、東京では思いつき自然に溶け込むことが難しいようでした。七小では校長先生をはじめ、自然と子どもが触れ合うことに力を入れていることから、いかに自然教育を行うかを学びたいと思います。

また、第八小学校でボランティアをさせていただき、一度に数十名の児童を指導することの難しさを目の当たりにしました。そこで、一人一人の個性を生かしつつ、決められた時間に同じことをさせるために必要な技術、工夫もこの実習で学び、身につけたいと思っています。

現在まだ始まったばかりですが、毎日たくさん子どもたちと走り回り、児童理解につなげていきます。

私は、これから四週間、七小で教育実習をさせていただきます。池田康人です。正直、実習前日まで、不安や緊張ばかりでした。しかし、子どもたちの笑顔や先生方の支えのおかげで、楽しく充実した実習を送れています。

実習の中で、私が身に付けたいと考えていることを大きく二つ書きます。一つ目は、子どもの気持ちに気づき、寄り添うことができようになることです。私自身、小学生の時、交友関係に悩み、担任の先生に助けていただいた経験があります。私も、その先生のように、子どもの不安や悩みに気づき、辛い時に寄り添えるように努力したいです。そのために、一人一人の児童との関わりを大切にしていきたいです。

二つ目は、個々に目を向けた指導ができるようになります。子どもは、授業の中で困難を抱えていると思います。今、この子が何に困り、何を求めているのか考え、適切な指導や支援ができるようになりたいです。そのために、授業の参観や実践を真剣に取り組んでいきます。短い間ですが、一生懸命取り組みますので、よろしくお願いたします。

マイブームは、豚肉のしょうが焼きを自分で作って食べることです！



好きなこと
旅行・外遊び
唐揚げです！

本日は学校公開ご参観ありがとうございました。今後の参考にさせていただきますので、「保護者アンケート」のご提出をよろしくお願いたします。
学校長より